

G20 観光大臣会合実行委員会 第3回総会 議事録

令和元年(2019年)年5月7日(火) 15:30~16:00
北海道庁舎赤れんが庁舎 2階 2号会議室

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 本日は、皆様大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。予定の時刻となりましたので、ただいまより、「G20 観光大臣会合実行委員会 第3回総会」を開催いたします。開催に当たりまして、鈴木知事からご挨拶を申し上げます。

(北海道知事：鈴木)

- 皆様、大変お忙しい中、また連休明けという状況にもかかわらず、お集まりいただき心から感謝いたします。
- 本年10月のG20観光大臣会合は、各国の観光を担う大臣が北海道・倶知安町に集うことから、優れた自然や文化、おいしい食といった本道の魅力を国内外に広くPRをする千載一遇のチャンスであると捉えております。
- 引き続き、皆様のご協力をいただきながら、今月下旬、大臣会合に先立って開催されます高級実務者級の準備会合の対応も含めまして、地元としての受入体制の整備や地域をしっかりとPRする準備をオール北海道で進めて、半年後の開催を迎えたいと考えております。
- 本日は、大臣会合の日程等に関して報告するとともに、実行委員会が実施する「開催支援」「気運醸成」「おもてなし」「地域PR」といった4つの柱による取組について、事務局からお示しをいたしまして、皆様からご意見等をお伺いしたいと考えております。
- 北海道ならではのおもてなしの心で、各国の皆様を、温かく迎え入れることができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 本日の出席者につきましては、お配りしている出席者名簿をもって紹介に代えさせていただきます。
- 申し遅れましたが、私は本日進行を務めさせていただきます道の総合政策部長の小野塚でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- それでは、次第に沿って進めさせていただきます。最初に、議題の1番目「G20 観光大臣会合」につきまして、事務局からご説明を申し上げます。

(G20 観光大臣会合実行委員会事務局長：中島)

- G20 観光大臣会合実行委員会事務局長の中島です。G20 観光大臣会合につきまして、資料1に基づきご説明申し上げます。
- 大臣会合の開催時期については本年10月25日、26日の二日間、開催場所はニセコHANAZONOリゾートで実施されることとなっており、参加人数はG20各国にスペインなどの招待国や国際機関の関係者を加えた150から200名程度になると伺っているところです。
- 主な日程となりますが、25日は高級実務者級会合が開催され、夕方には実行委員会主催の地元歓迎レセプションをヒルトンニセコビレッジで開催することで準備を進めております。
- 翌26日は、大臣会合が開催され、夕方に政府主催レセプションが予定されています。
- そして、27日は、大臣関係者が離道・帰国される前に、実行委員会が主催するエクスカージョンや交流行事にご参加いただきたいと思います。準備を進めているところです。
- 次に、大臣会合に先だって開催されます、5月の高級実務者級会合について、ご説明いたします。

- 開催時期については5月24日、開催場所につきましてはニセコHANA ZONOゴルフクラブで実施され、人数規模は60名程度で、参加クラスは事務次官級を想定しております。
- 主な日程でございますが、前日の23日に実行委員会主催の地元歓迎レセプションをスカイニセコで開催することとしておりまして、先般皆様にご案内させていただいたところ です。
- 24日は、午前中に高級実務者級会合が開催されまして、14時から観光庁、倶知安町及び実行委員会の主催によります公開シンポジウム、そして夕方には政府主催レセプションが開催され、25日は観光大臣会合の開催会場などを視察していただきまして、離道される予定となっております。なお、資料には記載していませんが、視察の後に小樽・札幌や洞爺・白老をご案内するエクスカージョンを準備しているところ がございます。
- 24日のシンポジウムにつきましては、参考資料1としてチラシを添付しておりますが、「持続可能な観光」をテーマに基調講演などを行う予定としており、多くの皆様にご参加いただきたいと考えております。
- 以上でございます。

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 事務局から「G20観光大臣会合」について説明を申し上げましたが、これにつきまして、ご質問などはございませんでしょうか。

－ 質問等なし －

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 次に、議題2「G20観光大臣会合開催に向けた主な取組」につきまして、事務局から説明いたします。

(G20観光大臣会合実行委員会事務局長：中島)

- G20観光大臣会合開催に向けた主な取組につきまして、資料2に基づきご説明申し上げます。
- 実行委員会では、「気運醸成」、「おもてなし」、「地域PR」、「開催支援」の4つの柱に基づきまして主催事業を実施するほか、企業や団体が実施する連携事業を、G20観光大臣会合推進事業と位置付けて、オール北海道での取組を展開することとしております。
- 最初に、「1 気運醸成」ですが、ウエルカム・キャッチフレーズを1月15日まで募集したところであり、応募作品から最優秀賞「ようこそ北海道・倶知安へ ここから始まる観光の未来」を選定し、このキャッチフレーズを掲載した「告知用ポスター」を公共施設などに掲示しております。
- 2ページ目ですが、「横断幕や懸垂幕など」を作成いたしまして、道庁、後志総合振興局、倶知安町役場、JR 倶知安駅に順次掲示してPRをしております。新千歳空港ターミナルビルにつきましては、連休中の4月27日にバナーを設置しております。
- 3ページ目ですが、「みんなに伝えたい北海道の魅力発信」と題しました「写真コンテスト」をG20MTM学生サポーターズの皆さんとの共催により実施しておりまして、このコンテストの受賞作品も活用しながら「歓迎用ポスター」を作成しPRを進めていきたいと思っております。「写真コンテスト」の案内チラシを参考資料2として添付しております。
- 次に、カウントダウンモニュメントでございますが、サッポロビールから協賛いただきまして、新千歳空港ターミナルビルに設置することとしており、5月18日に除幕式を行う予定です。
- 4ページ目の「学生サミット」でございますが、こちらもG20MTM学生サポーターズとの共催により実施することとし、8月下旬の札幌国際大学での開催に向けて準備を進めております。
- また、次の3つは連携事業となりますが、倶知安町の中心街活性化プロジェクト実行委員会や、しりべしツーリズムサポート、小樽商工会議所の皆様に独自事業として、気運醸成に取り組んでいただいております。

- 5ページ目は「2 おもてなし」の取組となります。先ほども資料1でもご説明いたしましたが、5月の高級実務者会合と、10月の大臣会合の開催に際しては、地元歓迎レセプションを開催し、来道される方々に記念品の贈呈を考えております。
- 6ページ目は「3 地域PR」となります。海外メディア向けのプレスツアーをJNTO（日本政府観光局）、北海道観光振興機構と連携して企画するとともに、情報PRブースを北海道観光振興機構のご協力のもと、会合の会場などに設置する予定です。
- また、道産食品のPRイベントを、9月中旬から10月下旬に後志管内において開催することを企画しております。
- 7ページ目は「4 開催支援」の取組となります。ジェトロにおかれては2月に実施した招聘事業におきまして、G20各国の在京大使館関係者をお招きし、大臣会合会場の視察を組み入れていただき、俱知安に関する情報提供をしていただいております。
- また実行委員会事務局では専用のホームページを設けて各種の情報発信を行っております。
- その他、今後大臣会合の詳細が明らかになった段階で、エクスカージョンや地元交流事業などの実施について検討をいたします。
- 今後とも、皆様におかれては、実行委員会主催事業に対するご協力や、気運醸成に向けたPRの実施など連携事業の実施について、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 最後のページには、ただ今ご説明いたしました主な取組を時系列にまとめておりますので、後ほどご覧いただければと思います。
- 以上でございます。

（北海道総合政策部長：小野塚）

- 以上、「G20観光大臣会合開催に向けた主な取組」を説明させていただきました。ただ今の説明いたしました主な取組につきまして、ご意見等はございますでしょうか。

－ 質問等なし －

（北海道総合政策部長：小野塚）

- 以上で、本日予定していた議事は終了しましたが、この機会に何かご発言がございましたらお願いいたします。

－ 北海道観光振興機構 堰八会長挙手 －

（北海道観光振興機構：堰八会長）

- 北海道観光振興機構の会長を仰せつかっている堰八です。それでは私から一言お話をさせていただきます。
- 北海道観光は、平成29年度に総入込客数、訪日外国人来道者数ともに過去最高を記録しております。また、道外からのいわゆる国内からの観光客数も平成18年度以来、11年ぶりに600万人を超えるなど、順調に推移していましたが、ご承知のとおり、昨年9月の北海道胆振東部地震により観光面において大変大きなダメージを受けました。
- 震災直後からの「風評被害対策」や「北海道ふっこう割」を発行するなどの効果などにより、法務省の出入国管理統計によれば、震災直後に前年比76.0%まで大幅に落ち込んだ外国人来道者数も、今年1月には前年比115%へと回復しております。
- この回復基調を持続させるためにも、「ふっこう割」が3月に終了しましたが、反動減を極力緩和するように、年度当初から速やかにさまざまな事業に取り組んで行っているところであります。
- このような中、先ほど知事からもお話がございましたけれども、この度の「G20観光大臣会合」は北海道を売り

込む千載一遇のチャンスであります。また、知事公約である「外国人観光客500万人」の達成に向けて、主に東南アジア中心のインバウンドさらに欧米の国々など諸外国に北海道観光を売り込む絶好の機会です。

- 10月の本会合前に開催される、5月の高級実務者級会合におきましても、来道された方々に、北海道に対して好印象をもっていただけるよう、私ども北海道観光振興機構も実行委員会の一員として最大限ご協力していきたいと考えています。
- このため、北海道観光振興機構では現在、高級実務者級会合に間に合うよう、北海道観光をPRするDVDの新しいものを作成中です。また、情報ブースでの展示を行うとともに、高級実務者級会合の終わった後に参加できるよう、小樽・札幌経由で新千歳空港に向かうルートと、洞爺湖・白老経由で新千歳空港に向かうルートの二つのエクスカージョンを用意させていただいております。今後とも北海道運輸局や道庁観光局とも歩調を合わせながら、取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 壇八会長ありがとうございます。他にご発言ございますでしょうか。

－ G20MTM 学生サポーターズ 前田代表発起人拳手 －

(G20MTM 学生サポーターズ：前田代表発起人)

- G20MTM 学生サポーターズ代表発起人の前田です。私たち学生団体では二つの企画でG20観光大臣会合に向けた気運の醸成に取り組んでおります。
- まず一つ目は学生サミットです。札幌国際大学や実行委員会事務局と打ち合わせをしながら、8月下旬の開催に向けて準備を進めております。ただいま道内の大学に声をかけて参加者を募集しております。
- 二つ目は写真コンテストです。こちらは現在作品を募集中で、現像写真部門は69件、インスタグラム部門は547件の応募をいただいております。5月10日が締め切りとなっておりますので周知についてご協力いただければと思っております。
- 今後も、私たちは学生の立場からありますが、G20観光大臣会合に向けまして気運醸成などに協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 前田さんありがとうございます。他にご発言ございますでしょうか。

－ 北海道運輸局：大高局長拳手 －

(北海道運輸局：大高局長)

- 北海道運輸局の大高です。日頃大変お世話になっております。先ほど実行委員会事務局、北海道観光振興機構、G20MTM 学生サポーターズから各種取組についてご紹介いただきましたが、このような多種多様な取組により、G20観光大臣会合を北海道で開催するという気運がますます高まっていくことを心から期待しております。
- 北海道運輸局としましては、各国の大臣級が参加される国際会議が倶知安町で無事に開催できるよう貢献するとともに、北海道にこられた皆様に北海道の魅力を改めて認識していただけるよう努めてまいりたいと思っております。
- 今回のG20観光大臣会合は、環境、経済、地域社会の3つの側面において調和のとれた「持続可能な観光」がテーマになると聞いております。北海道運輸局としましては、これを契機に「持続可能な観光」に

関する、国際的な指標の導入に向けた実証事業をニセコエリアで行う予定です。また、二次交通の利便性の向上に向け、A I 運行バスの運行に関する実証事業を倶知安町にて計画しているところです。

- 5月の高級実務者級会合も残すところ数週間となりました。この会合は気運醸成とともに、10月の会合に向けた準備という側面もありますので、実行委員会や倶知安町等をはじめとした関係者の皆様としっかりと連携してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 大高局長ありがとうございます。他にご発言ございますでしょうか。

－ 発言なし －

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 最後に、本実行委員会の副会長である文字倶知安町長から、ご挨拶いただきたいと思います。文字町長、よろしく願いいたします。

(倶知安町：文字町長)

- ただ今ご紹介いただきました、開催地倶知安町長の文字です。閉会に当たって、一言ご挨拶申し上げます。本日は、皆さまお忙しい中、当町で行われる大臣会合に向けまして、実行委員会総会にお集まりいただき、地元を代表してお礼申し上げます。
- あと半月ほどに迫ってまいりました、5月24日の高級実務者級会合の開催でございますが、当町に大きな施設がない中で、5月23日に開催される地元主催レセプション会場を倶知安町内のホテルとしていただきましたことに感謝申し上げます。
- 現在、倶知安町でも、観光庁や委託業者、北海道運輸局や北海道と調整しながら高級実務者級会合と国際シンポジウムの開催準備を進めているところでございます。
- また、町民会議におきましても、4月8日には、大臣会合開催200日前ということで、地元高校生がデザインしたカウントダウンボードを公開し、現在は役場庁舎内に展示しております。
- 4月26日には、大臣会合開催半年前として、地元小中学生をG20おもてなし協力隊ということで任命したところです。
- また、5月14日には、地元小学生の皆さんによります国際シンポジウム会場周辺の清掃活動を行う予定としているなど、地元の子供たちがG20観光大臣会合に関心を持っていただく取組を進めております。
- さらに5月24日の国際シンポジウム会場では、会場のお出迎えということで、来場者されるお客様に対しまして、豪雪の町倶知安のシンボルである雪だるまの雪像を本物の雪で制作して歓迎したり、先に申し上げた高校生デザインのカウントダウンボードも会場に展示したいと考えております。そういった形で皆様をお出迎えする気運を高めていきたいと考えております。
- 今後も、各事業の実施にあたりましては、北海道の実行委員会と連携しながら、世界に北海道の魅力を十分に発信できるよう、開催地として、しっかり取り組んで参りたいと思っております。
- 本日お集まりのみなさまにおかれては、オール北海道体制での大臣会合受入れについて、引き続きご協力のほど、よろしく願い申し上げ挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

(北海道総合政策部長：小野塚)

- 文字町長ありがとうございました。
- 以上をもちまして、「G20観光大臣会合実行委員会 第3回総会」を閉会いたします。本日は、大変ありがとうございました。